

IHH ヘルスケア (IHHL)

病院事業拡大が加速、2017/12 通期は大幅な増収増益へ

マレーシア | 病院 | 業績レビュー

BLOOMBERG IHH MK | REUTERS IHHL.KL

- 2017/12 期 1Q (1-3 月) は、売上高が前年同期比 8.5%増の 26.84 億 MYR、純利益は同 2 倍の 4.70 億 MYR となった。
- 既存病院の好業績に加え、新規病院と買収した病院も寄与し、主力の Parkway Pantai と Acibadem ホールディングスは何れも好調だった。一方、新設病院の操業開始のコストや人件費が増加した。
- 2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 15.0%増の 115.24 億 MYR、当期純利益が同 59.5%増の 9.76 億 MYR である。

What is the news?

2017/12 期 1Q は、売上高が前年同期比 8.5%増の 26.84 億 MYR、EBITDA が同 8.3%減の 5.65 億 MYR、純利益は同 2 倍の 4.70 億 MYR となった。既存病院のほか 2015 年に開業となった病院などが寄与し、2016 年に買収したブルガリアの徳洲会の徳田病院やシティ・クリニックグループなども売上高を押し上げた。増収ながら EBITDA が減益となった背景は、香港の Gleneagles 病院や Acibadem Altunizade 病院など新設病院の操業開始のコストや人件費である。

事業別売上高では、構成比で 6 割強を占める子会社の Parkway Pantai 病院は、シンガポールやマレーシアの病院、インドの買収先 (Continental and Global 病院) などが好調で、前年同期比 8.4%増の 16.74 億 MYR となった。ただ、新設の香港の Gleneagles 病院の開業前費用などから EBITDA は同 10.5%減の 3.34 億 MYR となった。トルコのヘルスケア・プロバイダー (ヘルスケア・サービス) である Acibadem ホールディングスは、傘下の Acibadem Atakent 大学病院や Acibadem Taksim 病院のほか、買収した徳田病院、シティ・クリニックグループ (現在は Acibadem シティ・グループ) が好調で売上高が同 9.4%増の 9.14 億 MYR となった。ただ、Acibadem Altunizade 病院の開業前の損失、オペレーションコストや医療費高騰によるレンタル費用などが上昇し、米ドルやユーロに対してトルコリラが下落したことなども影響し、EBITDA は同 7.3%減の 1.46 億 MYR となった。IMU ヘルスの売上高は同 8.1%増の 62.9 百万 MYR、EBITDA は同 18.1%増の 27.4 百万 MYR となった。IMU (International Medical University) で授業料を調整し、一部で学期を短縮したことなどが寄与した。2017/3 末現在で 49 のヘルスケア関連施設のポートフォリオを構成する PLife REIT は、売上高が同 5.2%増の 32.5 百万 MYR、EBITDA は同 6.2%増の 69.0 百万 MYR となった。

How do we view this?

2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 15.0%増の 115.24 億 MYR、当期純利益が同 59.5%増の 9.76 億 MYR である。

業績推移

※参考レート 1MYR=25.447円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万MYR)	7,339	8,447	10,021	11,524	13,168
純利益(百万MYR)	754	933	612	976	1,212
EPS(MYR)	0.09	0.11	0.07	0.12	0.15
PER(倍)	67.00	54.82	86.14	50.25	40.20
BPS(MYR)	2.38	2.69	2.67	2.75	2.85
PBR(倍)	2.53	2.24	2.26	2.19	2.12
配当(MYR)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04
配当利回り(%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.66

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

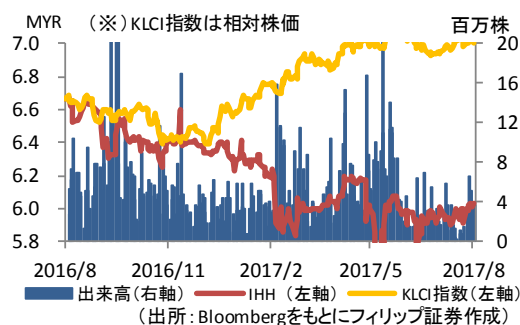
配当予想(MYR) **0.03** (予想はBloomberg)
 終値(MYR) **6.03** 2017/8/21

会社概要

2010年に設立したアジア最大の民間病院運営会社。質の高いヘルスケアの需要が急速に高まるアジア、中央・東ヨーロッパ、中東、北アフリカに展開している。大株主はマレーシア政府系投資会社ーカザナ・ナショナルや三井物産である。

企業データ(2017/8/21)

ベータ値 0.74
 時価総額(百万MYR) 49,681
 企業価値=EV(百万MYR) 56,294
 3か月平均売買代金(百万MYR) 36.71



主要株主(2017/8)

(%)
 1. Khazanah Nasional 41.08
 2. Mitsui & Co 18.03
 3. Employees Provident Fund 9.58

アナリスト

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.i.hara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。